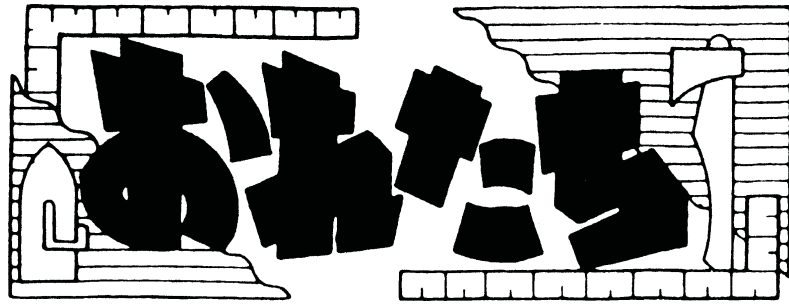


来月の無料法律相談は

8月19日(金) 14時~16時

希望者は前日までに予約を

7月初組合員数=2093人(-15人)



2011年

7月10日

第513号

http://www.doken-arakawa.org/

東京土建荒川支部

検索

福島原発放射能被害 おそれてこわがらず

権上(ごんじょう)かおるさん 酸性雨調査研究会が提言



酸性雨調査研究会は1991年に設立。大気汚染、酸性雨、市民運動が活動分野。権上さんは事務局責任者

6月、静岡市の本山茶から基準値を超える放射性セシウムが検出された。4月までに広島原爆約200個分の放射性物質が環境中に解き放たれた。放射能汚染が深刻な事態にある今、どうすればいいのか。酸性雨調査研究会の権上かおるさんのアドバイス。(次号にも掲載)

会

では3月11日の福島原発事故直後、メルトダウンも放射線物質の大量放出の事実も知らされていない時期に、いち早く放射線に対処する方法として、「恐れて、怖がらず」を公開、外出時の服装、放射性ヨウ素に汚染された水の使用方法など放射線に対する対処法を提案しました。これは多くの方から共感を持って受け止められ、各地で利用されてきました。

しかし、3カ月が経過する中で、既に大量の放射線が放出され、多くの地域が放射線

放

放射線は目に見えないから、どれだけの放射線を受けているかは測定器を使わないと分かりません。しかも、大量の放射線を長時間受けても、弱い放射線を長時間受けても病気になるから、場合によっては死亡するから、極めて危険です。

「安全だ」「安全だ」は間違い 危険だけ煽るのも間違い

に汚染されているという事態も分かってきました。わが国の国土は狭く、逃げる場所などあるわけがありません。まさに、今後長く放射線とつきあって生きていかなければならない事態です。そこで、再びその方途を提

案します。もちろん、まだまだ不十分な点があると思いますが、活用いただき、みなさんの力でより使いやすいものになりたいと思います。この提案が、放射線による被害を最小限にするため利用されることを期待しています。

生活上の注意点、関東圏を中心とした場合

性だけを煽るのも間違いです。どの放射性物質も有害ですが、特に有害な放射性物質は下表のようになります。ここで物理的半減期とは、放射性物質の量が半分になる期間のこと、生物学的半減期とは、体内に入った放射性物質が排出されて半分になる期間のことです。ストロンチウムは骨に沈着するとなかなか排出されず、生物学的半減期は物理的半減期より長くなります。

| 要素 | 物理的半減期 | 生物学的半減期 | 沈着する主な部位 |
|-----------|--------|------------|----------|
| ヨウ素131 | 8日 | 7日 | 甲状腺 |
| セシウム134 | 2年 | 成人 80-100日 | 筋肉 |
| セシウム137 | 30年 | 小児 40-50日 | 骨 |
| ストロンチウム90 | 29年 | 50年 | |
| ストロンチウム89 | 50日 | | |

主な放射性要素の物理的半減期と生物学的半減期

「安全だ」「安全だ」は間違い、危険だけ煽るのも間違い

生活上的注意点、関東圏を中心とした場合

①子どもの通学や通園・運動―放射線の強い通学・通園路、校庭・園庭、砂場などは、放射線量を確かめ、心配される濃度であれば、「天地返し」(表面を剥ぎ、穴をほって下土と上土を入れ替えること。土壌の遮蔽効果を利用するもの)をします。

②この措置をしたのち、風が福島原発方向から吹いていない日は、可能であれば線量計で確認後、戸外で遊ばせません。

③プール―まず水を入れ替え、放射線を測定して、安全を確かめた上で使います。終わった後、シートをかぶせて、放射線による汚染を防ぎます。

④個人住宅でも心配な場合は、水で屋根や壁・樋などを洗浄して堆積物を流し、庭は「天地返し」で放射線を減らします。

原水禁大会成功へ
8月カンパにご協力を
今年の原水禁禁止世界大会は8月7日から9日まで長崎で開かれ、荒川支部も代表団を派遣します。

福島第一原発事故で放射能が漏れ、あらためて原子力の危険性が問われています。世界大会成功のため、8月にカンパ袋を配布します。ご協力をお願いします。



木工教室を楽しむ親子(西尾久分会)好評だった網戸張替え(荒川分会)新会場住宅デー(町屋南分会)

木工教室ほか子どもむけイベントでもにぎわう

荒川分会・町屋南分会が新会場で試み

第34回住宅デー 区内11会場に3196人来場

6月12日、第34回住宅デーが行われ、東京土建荒川支部の10分会は区内11の会場で親子木工教室や包丁研ぎ、住宅相談などを行いました。天気心配されましたが、バルーンアートやヨーヨーなども向けるイベントもあり、親子連れの来場者でにぎわいました。全会場の来場者は3196人、組合員と家族の参加は339人でした。2分会が新会場で実施しました。

荒川分会 「エコに貢献できた」と 網戸張替えの富士田さん

【間所秀夫通信員】荒川 荒川分会は三河島公園で住宅デーを行い、組合員・家族70人が参加しました。三河島公園での開催は初めてで、500人が来場しました。 焼きそば、磯辺焼き、フランクフルト、菓子のつかみ取り、竹とんぼ、輪投げなどを取り組み、子連れのお母さんたちでにぎわいました。

網戸の張替えに夫婦で来場した荒川四丁目の富士田 仏具店さんは、「張り替えは20年ぶり。今年は節電な

女の子も本立て づくりで楽しむ 町屋南分会

【戸井田昭雄記者】町屋南 慈眼寺前のくすの木山公園で初めて開催し、場所が良いせいもあってたくさん子どもが集まりました。ヨーヨー釣り、本立て、

つくった本立てに上手に絵も 日暮里1分会



木工教室。「自分でやってみたい」と大人気=日暮里1分会

【角田輝夫記者】日暮里1 会場は東日暮里三丁目児童遊園。子どもたちは、水ヨーヨー、長風船、パターゴルフなどに集まり、木工教室で作った本立てには上手く絵を描いていました。 11時を過ぎると、地元では有名な貝殻とさの焼きそば「見た目で注文、食べて追加と大変な評判でした。 組合員・家族は41人が参加し、入場者は子ども50人、大人60人でした。住宅相談は6件、包丁研ぎは70件でした。

包丁研ぎを 心待ちの住民も 南千住六分会

【竹達浩記者】南千住 「包丁研ぎはいつも助かります」と話す地元、南千住の女性。南千住分会は、仲通り児童遊園と瑞光公園の二カ所で行いました。来場者は大人65人、子ども28人。参加者は39人でした。うち家族が4人、主婦の会が5人でした。 地域の建設労組としての役割を果たすためにも、さらに創意工夫して秋の荒川区民いきいきまつりにつながります。 二会場での住宅相談は4件、包丁研ぎ85件、まな板削りが5件、ハサミが5件、鎌が2件、募金は1万404円でした。

仕事と震災

読者に聞く

材料が不足 値段も数倍

東北地方には建設資材の製造工場が沢山ありましたが、今回の地震と津波で被害にあいました。東京でも瓦が落ちたり、外壁がはがれたり、被害が出ました。大工仕事で屋根や壁を直すようにもコンパネをはじめ



仮設電気がダメ 発電機で稼働

大震災当時、現場を二つ持っていました。一カ所は仮設電気が入りませんでした。材料が入りませんでした。値段も以前の数倍となり、材木屋から一回で入る資材も限られていて、数回かけて一現場分を押さえてから仕事にかかりました。 今では値段も下がり、材料も安定して入るようになりました。 加藤正雄さん(荒川分会、建築大工、61歳)



震災で東電内部に混乱があったからか、震災地への資材を確保するための出荷調整だったのか分かりませんが、二週間遅れ、発電機でやりました。 もう一カ所はベニヤが一週間も入ってきませんでした。仕事をやりくりしてしのぎました。 会田猛さん(南千住分会、建築大工、44歳)

仕事もストップ デイズニールランド閉鎖



夫(正典)は内装工事業者です。3月11日に東北大地震が起きた時は驚きました。仕事先の70%は浦安市の東京デイズニールランドです。 地震で一時閉鎖し、仕事もストップして大変でした。浦安の民家も傾き、道



イベントの仕事 自粛で中止に

自分は工員です。労働力不足はないし、現場じゃ新人は入れません。たまに現場に入る日があつたりします。 復旧作業での契約内容の曖昧さはないです。労災事故などの声がありますが、現場で何かあったでもないふりじゃないですか。 薄井章さん(町屋南分会、建具、58歳)

工期はたまに ずれたりしたが...

【斎藤憲一さん(日暮里2分会、内装、62歳)】



【大島正太郎通信員】荒川】6月23日、東京土建など4土建、全建総連都連などで構成する首都圏建設アスベスト訴訟統一本部は、日比谷公会堂で「首都圏建設アスベスト訴訟提起3周年集会」を開きました。全体で2012人、荒川支部から

震災・原発で荒川区南千住に避難 都営住宅も9月まで「早く戻りたい」

よし 阿部佳男さん (左官・塗装) 51歳
全建総連福島の仲間



①津波で倒壊した家屋＝小浜で ②ガレキの山＝折戸で ともに阿部佳男さんが撮影・提供

南千住6丁目の都営アパートに全建総連福島(福島県建設労働組合連合会)の仲間がいます。左官・塗装業の阿部佳男さん(51歳)です。

日本大震災の影響で、家族とともに荒川区に避難してきました。実家は福島県いわき市江名。東京電力福島第一原発の放射能漏れ事故では、避難区域にはなっていません。

しかし、避難勧告が出された同市広野町の親戚から、「そっち(江名)も直、危なくなるらしい」と助言され、15日江東区の親戚の元へ車を走らせました。高速は使えず、一般道で行き

ました。「海岸沿いを通るとき見たのは、津波で押し流された民家やビル、土産屋などのガレキの山でした。小浜も茨城もすごい状況でした」

その後、身を寄せていた江東区の親戚の家もひびの改修のためいられなくなり、都営アパートの入居に応募することに。抽選に当たり、4月から入居しましたが、9月で契約は解除になります。

「契約が切れた後どうすればいいのか不安です。ここには、いわき市出身者が四世帯います。一緒に東京都に嘆願書を出そうなんて話したこともあります」

阿部さんは現在、奥さんの弘子さんと中学生の息子さんを南千住に残し、いわき市の実家に戻っています。仕事は、旅館などの補修を行っています。地震で傾き、トイレのドアが閉まらなくなった実家は改修が必要ですが、大工職人が足りず手付かず状態だといいます。

中学生の息子さんには「風評被害」による差別はなく、クラスの友人もよく遊びに来るといいます。「義援金がまだ届いていません。うちは津波にもやられず、放射線の危険区域から外れていますが、亡くなったたり、避難所生活をしている知り合いもたくさんいます。早くもとの生活に戻りたい」と弘子さんは切実に話していました。

北海道・京都・福岡でも裁判へ

日比谷公会堂 3周年行動で2000人

首都圏建設アスベスト訴訟



は19人が参加しました。東京、神奈川、千葉、埼玉などの団長・弁護士からの報告では、388人の原告の中ですでに54人が死亡しており、早い決着を望む必要性が述べられました。

アスベスト被害の国の責任を求めた大阪泉南アスベスト被害者が提訴し、京都(6月)の建設アスベスト被害者が提訴し、福岡でも9月に全九州一体で提訴する構えです。集会後、参加者は配布されたウチワを片手に、アスベスト根絶、国と製造メーカーの責任を道行く市民にうったえ、銀座「東京駅鍛冶橋までデモを行いました」。

●銀座をデモする支部の仲間 ●泉南アスベスト訴訟原告の遺族

文 船橋賢一 書記局



6・9大集会＝中野ゼロホールで

音の葉

6月号に福島原発事故は、起こるべくして起きたと書いた。その言葉の根拠について説明をする必要を感じている。

(38)

それは、あの災害報道の中に、災害の規模を示す包括的表現の「想定外」という言葉があった。それにはっきりと、日本の原子力行政ならびに施策が、いかに脆弱なものであるかが表われていた。日本の国は、地学的に地球の三つのプレートの交差する位置にある。その動きによる過去の歴史的大地震の規模も、今日のプレート変動学で証明されている。

原子力発電所の計画・設計時に地震、津波の不可避的災害対策重点を置かず、二次災害の放射能物質の漏洩、飛散も「想定外」として利潤を優先した。そして、この重大問題を安全神話で覆い隠してしまった。

福島原発事故は、歴代政府と東京電力による人災だ。その根底には慢心がある。慢心は自己中心主義であり、排他的である。国民の尊厳を守る国家になることを望む。

(つづく)

大連立への地ならし 狙いは消費税増税

比例定数削減反対集会

【小林次夫通信員】荒川】国会議員定数削減に反対する大集会在6月9日夜、中野ゼロホールで開かれ、支部から5人が参加しました。

主催者代表の全労連柴田副議長のあいさつに続き、日本共産党市田書記局長は

「一定数削減の策動は民主党政権の行き詰まりで、この後の大連立の目標は憲法、社会保障の大改善、消費税増税である」と述べました。

渡辺治一橋大学名誉教授は講演で、「大震災の復興計画は被災者、農・漁業者の要望より財界中心の構造改革型計画であり、国民の

家具転倒防止 金具の助成復活

区議会あいさつ回り

【豊田佳二通信員】日暮里】6月15日、荒川区議会議員あいさつ回りと産業対策関係の要請を行いました。短時間でしたが、自民は志村幹事長、竹内区議が対応。家具転倒防止金具の助成制度復活については、特別委員会を審議、7月3日に復活することで決議成立する話でした。

竹内区議は、制度について土建独自の宣伝を多くやるべきと助言しました。民主は清水幹事長、公明は中村幹事長、共産は6人全員の区議が対応しました。

中村幹事長は、震災後に莫大な税金を投入するのはなく、事前対策に力を入れるべきだと以前から提案していると述べました。

共産党との話し合いの中では、原発事故による放射線測定を区側は測定しないことが分かりました。

契約曖昧で劣悪な就労 情報つかんでいる方は組合まで通報を 東北など被災地関連の工事



床下を修繕する東京土建の仲間

多くの建設労働者がゼネコンなどの指示で、地震発生直後から北関東・東北方面に、道路・鉄道の復旧と公共施設の緊急修理の突貫工事、夜間作業に動員されています。東京土建の仲間の相当地数、出向いています。緊急のことで契約内容が曖昧にされたり、宿泊費・交通費などの諸経費や夜間作業手当支給、安全確保などで劣悪な事例が発生しています。

被災地関連の工事で発生した問題の情報は、支部事務所までお寄せ下さい。本部を通じて大手企業交渉の窓口や不払い交渉の経験を活かした対応を取っていきます。また、厚生労働省の4月末の集計では復旧・復興作業で69人の建設従事者が死傷し、少なくとも4人が死亡しています。ガレキのアスベスト飛散問題も発生しています。



「布団はリフォームすれば、綿・羊毛なら20年、羽毛なら50年使い続けることができます」。5月には東日本大震災の被災地・岩手県の避難所にリフォームした布団を届けた

花嫁わた 荒川に根ざして30余年 布団の リフォーム最高のおりていで

花嫁わた株式会社(東日暮里6丁目)代表の吉村祐介さん取材しました。布団のリフォーム業を営む花嫁わたは、1881(明治14)年に創業し、今年で130年目を迎えました。6代目となる吉村さんは、以前は別の仕事をしていた異色の経営者で、また30代の若さです。その経営力は「一見の価値がある」といわれています。文・写真 根本武義記者 南千住

先代の父信一郎さんは、1990(平成2)年から始めました。ある家に伺ったところ、たくさんのお布団がしまっており、「色色な思い出がある布団なので、捨てるに捨



てられない」と話していました。そこで、信一郎さんは打ち直しをしたら元の新品同様の布団になるのではと思い、布団のリフォームを考えたといいます。それは客の心をつかむことになりました。

創業当初は製 綿業・布団販売

信一郎さんが勇退して会長職についたのが2009(平成21)年。まだ62歳でした。吉村さんは当時37歳。その後2年、現在も父が築き上げた基盤をどう維持するか。それは、並大抵のことではありません。花嫁わたは、創業から布団のリフォームを専門に扱ってきたわけではありません。1881年、吉村利八さんが静岡の富士で創業しました。約40年後の1918(大正7)年、荒川区に移ってからも長く製綿業と新品布団の販売を営んでい

ましたが、それを大きく変貌させたのが先代の信一郎さんでした。「新品の布団を販売することでもお客様に喜ばれましたが、父はもっと深い意味で喜んでいただけのこと

を考案したのです」それが「古い布団を打ち直し、丸洗いをして再び顧客のもとに戻す」、布団のリフォームとクリーニングでした。

布団は思い出が 詰まっている宝物

布団は寝具、使い捨てされる物ではありません。嫁入り道具などにされることも多く、長く使えばそれだけ思い出があります。そうならば布団は単なる物でなくなります。思い出が詰まっている大切な宝物です。

「捨てたくないと思うのは自然なこと。父はお客様がそういう要望を汲み取りました。布団づくり100年以上の歴史がある当社だからこそ、リフォームも最上級のクオリティでできると判断したのでしょ」



使い込んだ布団も真新しくよみがえる＝吉村祐介さん提供

「父はやる」と決めたら徹底する人で、もしもの時のために古い事業も残しておこうなどと保険をかけたらしません」

組合と原発 もう避けて通れない課題に

労働部デスク・伊藤篤

でも原発についても議論が運動が広がるでしょう。

9月19日には、作家の大江健三郎さんや瀬戸内寂聴さん、音楽家の坂本龍一さんら8氏がよびかけた脱原発集会在開かれます。5万人から10万人の規模で集会とデモを行う予定です。



荒川車庫前。98年の時を刻む区内停留所の最終地点

じゅつと荒川線 荒川車庫前駅 都電散歩13

王子電気軌道時代には、「船方向」として1913

(大正2)年4月1日に開設された停留所です。24(大正13)年に船方営業所が設置され、翌年に車庫が建設され、船方車庫として王子電気軌道の基地となり、現在に至っています。

42(昭和17)年、東京市電に統合されて「荒川車庫」と改称され、停留所名も「荒川車庫前」と改められました。25(大正14)年の建設以来およそ60年の歳月を王子電気軌道から東京市電を経て東京都電にと、その移り変わりを眺めてきました。

荒川車庫も、81(昭和56)年に全面的な改築工事が行われ、工事設備が整った近代的な新装荒川線にふさわしい総合基地、荒川車庫前と変身したのでした。完

文 根本武義記者 南千住 写真 書籍より転用

労働組合は、これまでに「核兵器廃絶」の課題ほどには原発問題に向き合ってきたませんでした。でも、福島原発の事故以来、避けて通れない課題だという認識が広がってきました。

「共同」広がるか? 今後、労働組合のレベルでも原発についても議論が運動が広がるでしょう。

その際、一つ気になるのが幅広い共同の取り組みがとれるのかどうかです。「原発・核」の課題では、過去に運動上のさまざまな見解と路線の対立などがありました。そこにあまりこだわらざるに、運動の大きな流れがとれなくなる恐れがあります。